Project No.20261019
第１５８回　銀行業務研修・基礎コース
第１７回　　融資システムコース

（関係部門へご回覧下さい）

融資システムの概要と最新の動向
（オンライン同時配信）

本コースでは、金融機関のなかで最も重要な融資システムが勘定系システムにどのように組み込まれ、新たな環境にどう対応するのかに焦点を当てます。融資業務の基礎から実務まで事例を交え解説。また新しい金融プラットフォーム「BaaS」やオンライン融資など最新動向も加えて説明していきます。そして銀行勘定系システムの現状、課題、そして未来への展望へ理解を深めます。

開催日：２０２６年１２月９日（水）・１０日（木）　　１．５日間
会　場：第２ニッキンホール（東京・市ヶ谷）
講　師：
元　株式会社　ｅｂｓ　　取締役　　清水　亨　氏

主催：日本金融通信社

https://bunkup.nikkin.co.jp/
※上記サイトからＷｅｂでの申しこみが出来ます

後援　一般社団法人全国地方銀行協会
一般社団法人第二地方銀行協会
一般社団法人全国信用金庫協会
一般社団法人全国信用組合中央協会

☆研修のねらい

金融機関の根幹を支える融資業務は、テクノロジーの進化によりその管理手法と戦略が大きく変容しています。本セミナーでは、このダイナミックな変化を捉え、融資システムの全体像と本質を多角的な視点から深掘りします。

デジタル技術の導入による業務効率化、リスク管理強化、顧客利便性向上といった具体的な課題解決を見据え、システムと業務の両面から融資システムの「あるべき姿」を探求。オープン系システムやクラウドへの移行、オンラインレンディングの進化、そして未来の金融サービスを形作る BaaS の概念まで、網羅的かつ体系的に理解を深めます。さらに、変革期を迎える銀行勘定系システムの現状、課題、展望についても深く掘り下げ、直面する課題を整理し、今後の方向性を検討することを目指します。

☆研修のテーマ

本セミナーでは、以下の主要テーマを通じて、金融 DX 時代における融資システム及び勘定系システムの考察を深めます。

1. 勘定系・融資システムの全体像と機能: 銀行システムにおける融資の役割、勘定系機能、主要商品の機能概要、およびライフサイクル管理を解説します。
2. 融資周辺システムの役割と活用: 個人ローン審査から延滞管理まで、与信・リスク管理に貢献する周辺システムの機能と活用法を詳解します。
3. 多様化するコーポレートファイナンスビジネス：法人融資の基本プロセスと、ABL、シンジケートローン等の多様な融資手法について、関連するシステムの観点から解説します。
4. オンラインレンディングの現状と戦略: 従来の融資との比較、市場動向、システム構築のポイント、課題、および今後の展望について考察します。
5. BaaS（Banking as a Service）が拓く未来: BaaS の概念、テクノロジー、企業・銀行・ユーザーのメリット、国内外の事例と将来動向を展望します。
6. 融資・勘定系システムの将来戦略: システム共同化、メインフレームからクラウドへの移行、API 活用、および更改・改修の方向性について解説します。

☆研修の対象

金融機関のシステム部門やシステム関連会社で、融資業務の経験がない方、または融資業務システムの企画・開発・運用に新たに携わるメーカー・ベンダー社員の方々におすすめです。

また、金融機関を主要顧客とする企業の営業担当者や SE の方、そして「銀行業務研修・基礎コース」を修了された方。

☆開催要綱

日　程：　２０２６年１２月９日（水）・１０日（木）　１．５日間

時　間：　１日目　１３：３０～１６：３０（１３：００受付開始）

２日目　１０：００～１６：００（９：３０受付開始）（２日目の昼食はご用意いたします）

講　師：　清水　亨　氏（元　株式会社　ｅｂｓ　エグゼクティブフェロー）

会　場： 第２ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

受講料：・デジタル金融研究会会員　　５３，９００円（本体価格４９，０００円）

・ＢＵＮＫＵＰ会員　　５６，１００円（本体価格５１，０００円）

・後援協会会員　　５７，２００円（本体価格５２，０００円）

・一般　　６０，５００円（本体価格５５，０００円）

定　員：　３０名（最少開催人員１０名）

※講師のご紹介

清水　亨　氏（元　株式会社　ｅｂｓ　取締役）

35 年以上にわたり金融 IT に従事。信用金庫、日鉄ソリューションズ等を経て、2002 年東京スター銀行に入行。融資審査システムをはじめとする融資関連システムの導入、複数の事業譲受に伴うシステム移行、M&A の IT デューデリジェンス、海外製パッケージ導入を経験し、NEC『BankingWeb21』への勘定系システム刷新を主導。
2019 年にｅｂｓ入社、取締役を務め、金融機関等の IT 戦略・業務改革を支援。銀行、システムベンダー、コンサルティングの三つの立場を経験し、現在は金融 IT に関わる講演・執筆活動を行っている。

第１５８回　銀行業務研修・基礎コース　第１７回　融資システムコース

融資システムの概要と最新の動向

カリキュラム

１日目　１２月９日（水） 13：30～16：30　（13：00 受付開始）	２日目　１２月１０日（木） 10：00～16：00　（9：30 受付開始）
Ⅰ．勘定系および融資システムの概要 １．銀行システムの全体像 ２．勘定系システムの機能概要 ３．融資共通　　４．証書貸付 ５．カードローン **Ⅱ．融資周辺システム** １．個人ローン審査システム ２．融資支援システム ３．不動産担保評価・管理システム ４．財務情報管理システム ５．内部格付制度 ６．格付・自己査定システム ７．延滞管理システム **Ⅲ．コーポレートファイナンスビジネス** １．法人融資の業務プロセスと関連システム ２．一般事業資金融資・事業性評価融資 ３．ＡＢＬ、シンジケートローン等の多様な融資手法 ４．ノンリコースローン、外貨融資等の専門性の高い融資	**Ⅳ．オンラインレンディングの最前線と展望** １．オンラインレンディングと従来融資 ２．オンラインレンディングの現状 ３．借り手と貸し手のメリット ４．オンラインレンディングを実現するためのシステム構築 ５．課題と今後の展望 **Ⅴ．ＢａａＳが変えるビジネスと未来** １．ＢａａＳとは何か ２．ＢａａＳが求められる背景 ３．ＢａａＳを支えるテクノロジー ４．ＢａａＳを利用するメリット ５．国内の事例 ６．ＢａａＳが抱える主な課題 ７．ＢａａＳの今後の展望 **Ⅵ．変革期を迎える銀行勘定系システムの現状、課題、展望** １．勘定系システムの現状 ２．勘定系システムが抱える課題 ３．勘定系システムの今後の在り方 ※２日目の昼食はこちらで用意いたします。

ＦＡＸ０３－３２６１－４５７０　セミナー事務局まで

１９

第１５８回 銀行業務研修・基礎コース

第１７回融資システムコース「融資システムの概要と最新の動向」

ホームページ用受講申込書（２０２６年１２月９日～１０日開講　１．５日間）

貴社名

所在地　〒

ＴＥＬ　　ＦＡＸ

Ｅメール　　オンライン受講（　　）

受付番号	参加者氏名	所属（部・課・グループ）	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。
☆一週間経過しても届かない場合はご連絡ください。

受講料　Ａ：D研会員価格　　５３，９００円（本体価格４９，０００円）
Ｂ：ＢＵＮＫＵＰ会員価格　５６，１００円（本体価格５１，０００円）
Ｃ：後援団体会員価格　　５７，２００円（本体価格５２，０００円）
Ｄ：一般価格　　６０，５００円（本体価格５５，０００円）

お問い合わせは、
株式会社　日本金融通信社
ＴＥＬ０３－３２６１－４５５０　ＦＡＸ０３－３２６１－４５７０　まで。
ｅ－ｍａｉｌ　k-info@nikkin.co.jp

注：振込先銀行
みずほ銀行　市ヶ谷支店　普通預金　１７９７０４２　（名義）　株式会社日本金融通信社
振込予定日（できるだけご記入ください）　　月　　日

受講についてのお願い
①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。
②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下３桁（枝番数字）を付記してください。
　振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。
④開催日、６日以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。
⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。
⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。
⑦オンライン受講の場合は、一人が１IDとなります。